



2019年障害者問題全国交流会を 滋賀県で開催します



障がいのある方と共に働く 株式会社小寺製作所 特集は中面へ

一人ひとり将来に向けた夢・希望は違えど、人にとって共通する願いは「幸せになりたい」ということではないでしょうか。どのような時代でも、どこで、どのように暮らしていようと「幸せになりたい」という願いは変わらないと思います。

また「幸せ」を何に求めるかは人によって違うでしょうが、「あてにされる」「役割がある」「居場所がある」、このことは「幸せ」を感じる大前提であると思います。そのうえで「働く」ことは、幸せの大前提を創出するものです。人にとって「働く」ことは「幸せ」に「生きる」ことに直結しています。

さて、厚生労働省の発表によると、平成28年12月の有効求人倍率は全国平均で1.43倍と高水準にあります。「雇用」を取り巻く環境が変化するなか、障害のある人、外国人、引きこもり等若年無業者、がん患者の方、若年性認知症の方等、働きにくさを抱えた人、別の捉え方をすると社会から「働くことが難しい」と思われている人がおられます。

全ての人に「役割」「出番」を創出し、人が生かされる、人が輝く社会を創出することは、毎週1.3万人もの労働力人口が減少し人材確保が大きな課題である日本にとっても大きな意義があります。まさに、人が生きる・地域が輝く人間尊重の経営という同友会理念の根幹を具現化するものであるのではないのでしょうか。

2019年秋、滋賀県で開催する第20回障害者問題全国交流会に向け、共に学んでいきましょう。(城)

仏具・鍔金具製造

株式会社 小寺製作所

個性を発揮し
すべての人が
活躍できるように

職場体験の受入で
障がいのある人を
身近に

大津市の株式会社小寺製作所では仏壇金具および金属製仏具の製造・販売などを行っております。

こちらでは30年以上も前から障がいのある方の職場体験を積極的に受け入れてもらいました。小寺さんの父で社長の昌一さんはPTAの役員をした際に養護学級の子どもと接し、何をするにも「この子も参加できるようにはどのようにすべきか」と工

障がいのある人も個性を活かし、
能力を発揮できる会社

平成5年から障がいのある方を雇用してこられた株式会社小寺製作所。

そのうちおひとりは現在も活躍され、勤続24年目。長く続けられる秘訣や、雇用に至った経緯・考え方、またご本人のお話しも伺いました。



夫してきたことから、受入時にも全く悩むことがなかったそうです。大津市内に限らずいろいろな地域から1週間、1ヶ月程度の体験を受入れて

おられます。従業員の方も最初は戸惑いがあったようですが、次第に指導にも慣れ、噛み砕いて指導するということとで自身もいろいろなことを学び、良い経験になっておられるようです。

障がいを
個性として捉え、
適材適所を探す

地域でもスポーツな

どの活動を

たくさん

しておら

れる小寺さ

んは、いろいろな方と接



することが多く、その際に一歩掘り下げて深く接することとでその人のことを理解しておられます。障がいも同じで、個性であると見てその人のことを深く理解し、その人が得意とすることを見つけてあげることが大切だと言います。



営業部 課長

小寺 雅也さん

株式会社 小寺製作所

〒520-0804 大津市本宮1丁目3-43

TEL 077-522-5210

FAX 077-522-5215

URL <http://www.koterass.co.jp>

家族や周囲に
支えられて
企業での就労

仕事もその人の特性を活かせることが見つかるまでいろいろ経験してもらいます。合ったことが見つければ、健常者以上の能力を持つておられることもあるそうです。「それを見つけることが大切。そのためには雇う側に余裕がないといけません。プライベートも充実させ、余裕を持つて仕事をするのが受入にも柔軟に対応ができることに繋がります。」と語っておられました。

以前社長の昌一さんは「企業で働くために家族は家庭でどうすれば良いのか」というテーマで講演をされたことがあるそうです。そこで伝えた





ことは、「挨拶をする 自分の
思っていることを言う わから
ないことは聞く」つまりコミュ
ニケーションを上手くとれるよ
うにトレーニングすることが大
切なことだったそうで
す。小寺さんも技術や知識で
はなく、これさえ備わっていれ
ば企業で働くことはできると
言っておられました。これは
健常者でも全く同じことが
言えます。“障がいがあるか
ら”というのは関係なく、社
会人として当たり前のことが
できていれば、一般の企業で働



くことができるのです。
しかし、やはり専門ではな
いのでトラブルが起こった時に
対処できないことも実際には
あるそうです。その際に出身
の施設や両親などに相談し
解決してられました。そう
した家族など周囲の支えが
あれば、障がいのある方も普
通に働くことができ、障がい
者雇用は何も珍しいことでは
ないとのことでした。こうした
考えが企業の間で広がり定
着していけば、障がい者の方
の就労の壁を
なくしていけ
るのではない
でしょうか。



小寺製作所PR動画



製造部 組立課
西原隆次さん
入社24年目
(平成29年1月末日現在)

Q 社内の方とのコミュニケーションはとれていますか？
A 社員旅行などの行事にも参加し、コミュニケーションをとれていると思います。僕の特技で、社内の方の誕生日や社内行事などをすべて覚えてるので、昔の出来事を話したりして盛り上がるのがあります。みんなと楽しく話をするのができて、楽しく過せています。

VOICE

働けることが
幸せです。

Q 発達障がいがあると伺いましたが、元気に活躍されていますね。小寺製作所での仕事はどうですか？ 慣れましたか？
A 自宅も遠く最初は大変でしたが、今は通勤にも仕事にも慣れました。社長にも友だちのようにいつも仲良くしてもらっています。

Q 最近取組んでいることはありますか？
A 体力維持のために社長の薦めでジョギングを始めました。毎日30分程走っており、マラソンにも参加して10kmを完走し、20kmにも挑戦しました。社内でボーリングに行くこともあり、体を動かすことには積極的に取組んでいます。

ユニバーサル委員会 活動・トピックス

2019秋 障全交in滋賀開催に向けた 研修会

中同協から報告者を招いて学び、障全交in滋賀開催の意義を深め合い、共有します。

日時：2017年3月2日(木)
15:30～18:30

場所：フェリエ南草津5階
大会議室

報告者 松井清充氏
中小企業家同友会全国協議会 専務幹事

テーマ 同友会が障がい者問題に取り組むワケ
～その歴史と理念から
「人を生かす経営」の本質を学び合う～

開催担当：ユニバーサル・共育・経営労働委員会、理事会
※人を生かす経営の深い学び合いです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



松井清充氏

第19回 障害者問題全国交流会in福山

2019年に滋賀県で開催する障全交の前回大会が、今年の秋に広島県で開催されます。是非に多くのご参加を!

日時：2017年10月19日(木)・20日(金)
場所：福山ニューキャッスルホテル

支部活動報告

大津支部

「ソーシャルインクルージョン プロジェクト」とは、大津支部で昨年新たに立ち上がった委員会です。

全ての人々を孤独と孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげよう、社会の構成員として包み支えあうという理念から、同友会の学びを通して実践しています。小鳩乳児院・湘南学園の子供たちへ、中学校職場体験前の講義での経験から遊びを通して、彼・彼女らの心をつかみ、「仕事とは? 働くとは?」と、共に考え学び、出前授業を行い仕事に触れてもらいました。

もう一つは、おおつ働き・暮らし応援センターと連携し、障がい者の職場見学・体験を実践してきました。

「いいことやってるなあ」だけでなく、地域に根差して関わってきた我々中小企業にとって、このような取り組みや、次世代・潜在的労働力への投資は、必ず「自分・自社」の為になります。

我々中小企業家がパラダイムシフトし、2019年滋賀で開催される「障害者問題全国交流会」を契機に多くの同友会の

仲間が結集することを願っています。
(S・T記)



湘南学園での出前授業

支援の現場から ～特別支援学校編③～

滋賀県立野洲養護学校は、知的および肢体不自由の障がいがある児童生徒のための特別支援学校です。昭和44年開校の八幡養護学校が平成20年に移転して新たに野洲養護学校となりました。

4市1町(野洲市、守山市、栗東市、竜王町、安土町を除く近江八幡市)を校区とし、びわこ学園医療福祉センター野洲に北桜校舎、本校敷地内に全県域を範囲とする寄宿舎があります。開校時の児童生徒数は191名でしたが、8年後の平成28年は約2倍の371名と大幅に増加し、今後増加が予想されています。

高等部は今年度122名が在籍し、40名が卒業します。このうち一般就労は3名で、就労移行支援や就労継続支援等を利用しながら今後の一般就労を目指す生徒が20

名います。また1年生34名、2年生48名が卒業後の「自立と社会参加」に向けて日々様々な学習に取り組んでいます。

障がい重い生徒も一般就労を目指す生徒も、一人ひとりそれぞれの「自立と社会参加」の形があります。今は実習の機会が限られていますので、ぜひ実習を受け入れていただき、特別支援学校の生徒の持てる力を実際に見て、感じてもらって、一人ひとりが輝ける場を提供していただけるとありがたいと思っています。



本校における作業学習の様子